

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会
令和 7 年度 第 10 回ハイブリッド開催定時理事会報告

日 時：令和 7 年 12 月 11 日（木） 13 時～16 時 50 分

場 所：JSOS ビル 3F 会議室 5 及び Zoom

出席者：【理事】 町田 幸男、廣川 健太郎、畑中 渉、望月 啓治、赤尾 浩一、小田部 拓、
石井 昭彦、吉田 春彦、中橋 沙羅、星 一男（第 4 号議案より参加、3 時以降
退出）、石田 英行、
（欠席）武田 豊明、原 勇人、下村 真一（第 4 号議案より参加）、蛭田 伸一、
野村 善弥（16:30 から参加）、古賀 英年、前田 善彦、安井 博志、小高 令子、
（欠席）栗田 季慎子、中島 隆之、平田 伸也（16:40 から参加）、奥井 健吾、
藤江 理枝、西原 斗司男（15:00 から参加）

理事出席者 24 名 欠席者 2 名

【監事】 古屋 寿隆、佐久間 務

監事出席者 2 名

1. 開会

2. 会長挨拶

本日は、議案に関連し今後の JMSCA の在り方や、来年度からの中長期計画について意見交換したい。
尚、常務理事会や理事会に出される資料の中身が間違っているものが散見される。委員会の委員長
だけでなく、担当理事も中身をチェックしてほしい。ガバナンスを効かせるようにしてほしい。

3. 会議成立状況報告

理事数 26 名中 21 名出席 監事数 2 名中 2 名出席
（定款第 33 条、定足数=14 名（過半数以上））

4. 議長選出 会長が議長をつとめる（定款第 32 条）

5. 議事録署名人 会長及び監事（定款第 34 条）

6. 議題

議案第 1 号 前回理事会議事録の承認について

すでに、内容の確認は完了しており以下のとおり承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 21 名

議案第 2 号 スポーツクライミング公認大会の承認について

藤江理事が、公認競技会申請が提出されている「全国中学生リード大会 2026」について
配布資料を基に説明した。内容的には、了承できるが、申請書、収支予算書上の数値（人
数、収入金額等）に間違いがあるので、数値を再確認し、再提出することを条件に異議
なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 21 名

議案第 3 号 課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援事業に係る JSC の照会への対応について

望月専務理事が、配布資料を基に経緯の説明をした。強化委員会が本年 9 月に実施した
国内合宿事業の会場選定について、JSC から利益相反等の問題はないか照会があり、これ
に対応する文書についての審議。利益相反が認められないことは常務理事会でも審議済み
であり、改めて理事会で審議したが、原案の内容で JSC に提出することで異議なく承認
された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 21 名

- 議案第 4 号 2026～2030 年度中期計画の策定に係る将来を語る会について
望月専務理事が、配布資料を基に説明した。様々な意見が出されたが、次期計画の理念やビジョンの策定にあたり理事、監事、正副委員長などにより、来年 1 月 23 日（金）19:00 から WEB 形式で語る会を実施すること、またこれに関連して各専門部においても理念やビジョンについて整理しておくこととなり、以下のように異議なく承認された。
棄権 0 名 反対 0 名 賛成 21 名
- 議案第 5 号 審判員等の待遇改善に関する要望について
奥井理事が、配布資料を基に説明した。審判員の謝金単価の引き上げ要望であるが、財源の確保等の問題があることから、まずは SC 部内で協議・調整することとした。また、旅費については、新幹線の自由席を実情に合わせ、指定席での単価にしても良いのではとの意見が出された。
- 議案第 6 号 令和 7 年度第 2 次補正予算について
望月専務理事が、最新の委員会毎の収支状況を説明し、前年と比べ収入が減少しており、固定費や事業費の削減の必要性を説明した。審議の結果、更に最新事情を加味して補正予算を決議する必要があることが判明し、今回は報告までとした。
- 議案第 7 号 全国理事長会議の開催及び議題について
望月専務理事が、2 月 8 日（日）に開催の同会議について、配布資料のような議事で開催することを提案し異議なく承認された。
棄権 0 名 反対 0 名 賛成 22 名
- 議案第 8 号 スポーツクライミング競技規則の一部改定について
奥井理事が、配布資料を基に変更点（IF のルール変更に合わせてテクニカルインシデントの影響を受けた選手について最小時間一律 2 分を廃止し、インシデントや抗議の内容によって判断することにした）の説明をし、以下のように異議なく承認された。
棄権 0 名 反対 0 名 賛成 22 名
- 議案第 9 号 UIAA アイスクライミングワールドカップ参加選手について
廣川副会長が、従来、参加選手について常務理事会での承認や、理事会での報告はされてこなかったが、今後の常務理事会での機関決定を含むプロセスについて提案し、候補選手（女子 7 名、男子 10 名）について以下のように異議なく承認された。また、委員会や、UIAA とのかかわり方について廣川副会長が整理をすることになった。
棄権 0 名 反対 0 名 賛成 22 名

7. 報告

- 報告第 1 号 11 月末時点の収支・キャッシュフローの状況について
赤尾事務局長が、現時点のキャッシュフロー及び、12 月から 3 月までの資金確保対策を説明した。確実な資金確保のためには、委員会（特に、SC 競技委員会、SC 強化委員会、スキーモ委員会）から詳細な収入、支出の見込数字を事務局に提供することになった。望月専務理事が、11 月末の予算管理表、決算表の追加説明をした。
- 報告第 2 号 以下、報告第 2 号から第 8 号まで、望月専務理事が報告した。
山岳主任検定員の認定について（A 検定 2 名、B 検定 9 名）
常務理事会で以下の対象者が承認された。
A 検定 2 名
①経塚 雅子（新規・東京） ②長井 浩太郎（福井）
B 検定 9 名
①松山 信（長野） ②佐々木 政雄（福島） ③鈴木 修（静岡） ④計良 寿彦（埼玉）
⑤小林 玲子（静岡） ⑥横倉 敦史（新規・栃木） ⑦浅岡 隼一（新規・東京）
⑧佐伯 先史（新規・香川） ⑨桂山 章（新規・兵庫）

- 報告第 3 号 公認夏山リーダーの資格認定について (大阪 3 名)
指導委員会の議事録では 3 名 (①岩谷 多恵子 ②吉田 竜二 ③中西 久美子) が書かれているが、指導委員会の議事録上、2 名が合格し承認されたとあり人数に差がある。内容を再確認して、正しい内容を再送 (保管) することとなった。
- 報告第 4 号 SC コーチ 1 専門科目検定合格の認定について
常務理事会で、以下の対象者が承認された。
■主任検定員養成講習会
講習会修了者 9 名 (新規 4 名、期限切れ 1 名、継続 4 名) が講習会を修了し認定された。
①尾形 和俊 (新規 長崎) ②森本 穰 (新規 神奈川) ③児玉 勉 (新規 神奈川)
④岸本 郁代 (新規 神奈川) ⑤島田 邦昭 (神奈川) ⑥目次 俊雄 (千葉)
⑦山本 和幸 (神奈川) ⑧鈴木 正之 (神奈川) ⑨中島 陽子 (東京)
以下の 10 名については、公認主任検定員認定規約第 5 条に基づき、継続認定された。
⑩菅野 富寿 (福島) ⑪藤江 理枝 (東京) ⑫篠崎 喜信 (東京) ⑬佐藤 豊 (埼玉)
⑭佐原 晴人 (愛知) ⑮西村 良信 (兵庫) ⑯方山 文生 (兵庫)
⑰安藤 篤司 (富山) ⑱広畠 裕士 (茨城) ⑲有枝 樹雄 (東京)
■神奈川県会場 8 名
①加藤 拓真 ②田村 雄輔 ③大西 麻理子 ④大西 蛭雪 ⑤井口 紘之 ⑥近藤 美七海
⑦池谷 海斗 ⑧太田 侑生
■千葉県山岳・スポーツクライミング協会 3 名
①萩原 香月 ②小林 和音 ③高口 洋平
- 報告第 5 号 埼玉県教育委員会からの外部委員推薦依頼について
常務理事会が町田会長を選任したことを報告した。
- 報告第 6 号 JMSCA 定例表彰及び日本山岳グランプリについて
常務理事会で定例表彰 5 名 (土井 祐之氏、木村 康男氏、稲田 春男氏、山田 雅昭氏、山本和幸氏)、指導委員会から 3 名 (土井 祐之氏、木田 光彦氏、西村 良信氏、うち 1 名は定例表彰と同一) が推薦され承認された。
指導委員会からの推薦対象者 2 名 (木田氏、西村氏) については、推薦調書を提出してもらうことになった。
- 報告第 7 号 BJC に係る海外セッター招聘の承認について
技術委員会からスペインからのセッターの就労ビザ発行の依頼がきている。費用に関しては、競技委員会で拠出し、来年日本人セッターがスペインの競技会に行くことについて予算化されており、問題ないので、常務理事会で承認された。
- 議案第 8 号 令和 7 年度上半期中間監査指摘事項への対応について
各部長から提出された内容を再構成し、監事あてに回答する文案について説明した。
- 報告第 9 号 国スポリード壁 4 ルート問題の報告について
原理事が、11 月 28 日に JSPO と協議した結果を報告した。
- 報告第 10 号 UIAA に関する今後の活動方針について
石田理事が、配布資料を基に説明した。今期は、UIAA 情報部会を立ち上げる。
また、自然保護、法律関係の専門委員が参加するように青山委員長が働きかけている。
今期、一部委員が自らの費用負担で UIAA を訪問したが、今後は、来年度予算に反映することを確認した。
- 報告第 11 号 登山部・山岳共済会 安全登山講習会開催について
廣川副会長が、第 3 回目を 12 月 23 日 (火) に実施予定。来年は、1 月 21 日から 23 日の間の候補日から実施する予定で調整している。

8. その他 望月専務理事から以下の内容が伝達された。

- ミラノコルティナ冬季大会の結団式、壮行会への参加希望者は12月12日までに事務局に連絡すること。
- 事務局の年末年始休業は12月27日～1月4日までの予定。
- 各委員会議事録については、Google ドライブに作成した各部のフォルダ内に収納し、そこから適宜参照してください。

令和7年12月11日

記録
赤尾浩一